

2021 年 11 月 30 日

株式会社NTTドコモ

「ドコモの 5G 必須特許保有数は世界第 4 位、通信事業者として世界首位」

～5G 高度化・拡張のための標準規格策定においても大きく貢献～

株式会社 NTT ドコモ(以下、ドコモ)は、株式会社サイバー創研による調査「5G-SEP(*1) 宣言特許の整合性」を 評価(第 3 弾)、評価結果を販売」(以下、本調査)※1において、第 5 世代移動通信方式(以下、5G)のサービスを提供する際に必要な 5G 標準規格で必須の特許(以下、5G 必須特許)の保有数が世界で第 4 位であり、世界の通信事業者の中では首位と評価されました。

本調査は、2020 年 10 月※2、2021 年 4 月※3に続く第 3 弾となります。この間、5G 高度化・拡張のための標準規格策定が 3GPP(移動通信システムの規格策定を行う標準化会合)で行われており、5G の核となる通信技術に加え、5G を高度化・拡張する通信技術も含めた 5G 必須特許保有数においても、引き続き上位を維持していることとなります。

ドコモは、3GPP での 5G 標準化活動において、通信事業者として最も多い約 5,900 件※4の技術提案(寄書提出)を行い、5G 標準規格として採用された累計で約 1,500 ファミリー※5の技術を必須特許として宣言しています。標準規格に関連する特許ファミリーや寄書提出の件数は、標準化活動への参加企業の技術的な貢献度を示すバロメーターであり、ドコモは 5G 通信技術の高度化・拡張にも大きく貢献して参りました。

3GPP では、更なる 5G 高度化・拡張及び Beyond 5G(以下、B5G)に向けた標準化活動が行われます。ドコモは、引き続き、戦略的に 5G 及び B5G の知財取得・標準化に取り組み、日本の国際競争力強化に貢献して参ります。

今後もドコモは、お客さまにより良いサービスを提供するため、またモバイル通信の未来を切り開くため、研究開発や標準化活動に取り組んで参ります。

※1 <https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/11/08/3037/>

※2 https://www.cybersoken.com/file/press_5G_Patents_5G-SEP.pdf

※3 <https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/04/02/2889/#more-2889>

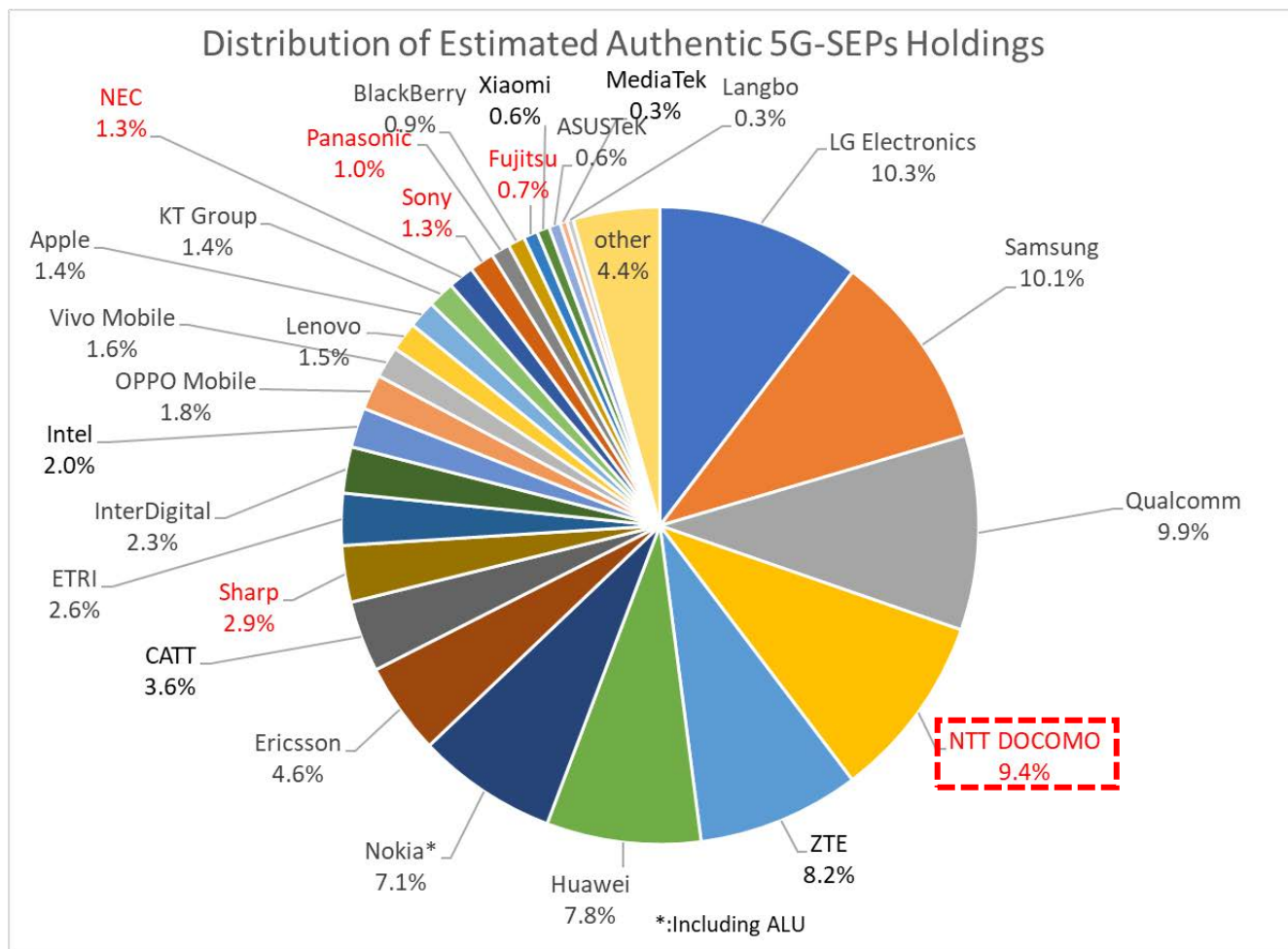
※4 世界で 10 位 (サイバー創研調べ <https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/04/02/2889/>)。

※5 5G 規格関連の特許出願ファミリーは約 3,400 件。その内、必須宣言をしたファミリーが累計約 1,500 件(更に追加宣言予定)。ファミリーとは、同じ発明を複数の国へ特許出願した場合のそれらの特許のグループ。

*ドコモの標準化への取り組み <https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/rd/tech/standardization/>

参考

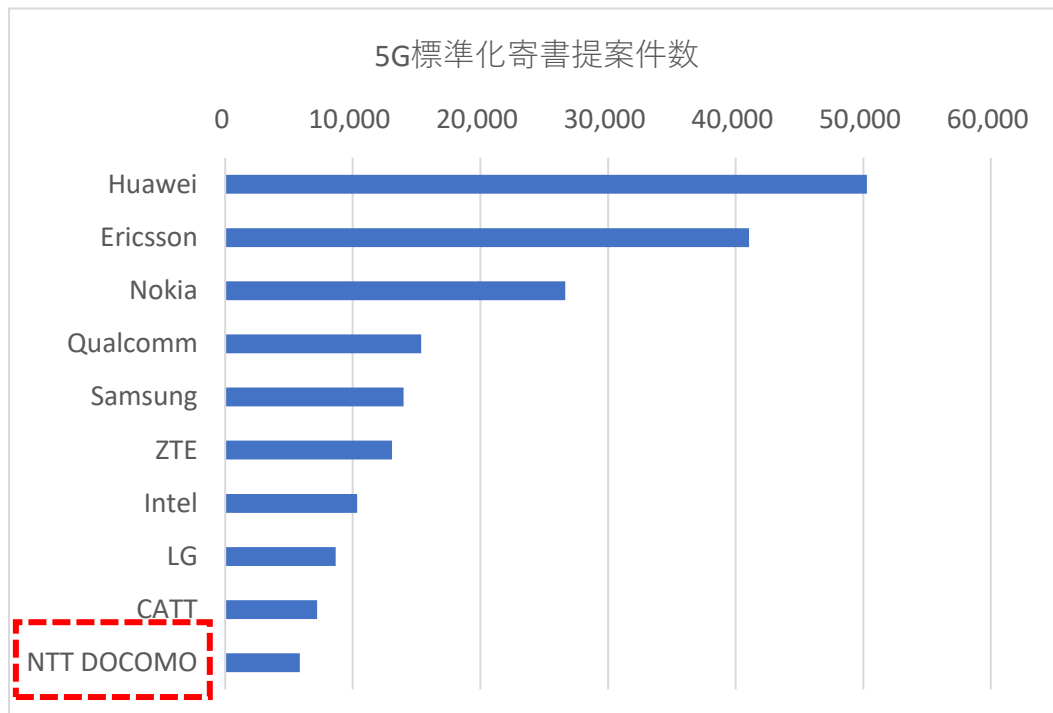
1. 5G 必須特許の保有状況



出典: 株式会社サイバー創研 プレスリリース(2021 年 11 月 8 日)

<https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/11/08/3037/>

2. 5G 標準化主要プレイヤーの技術提案数



出典: 株式会社サイバー創研 プレスリリース(2021 年 4 月 2 日)

<https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/04/02/2889/>